

新潟生活

niigata seikatsu

第24号

2015年3月
発行

目次

教えて先輩! ● 良いモノを知って欲しい
やりたいことに向かって
特集 ● 私たちが新潟で暮らす理由

～お子様が帰省された際に親子で将来を話し合ってみてください～

教えて先輩!
vol.45

良いモノを知って欲しい

モノづくりに目覚めて

高校卒業後は、グラフィックデザインの専門学校に進みましたが、山形の実家が林業をしていたため、いずれは木に関わる仕事をしたいと思っていました。就職した家具・インテリア関係の会社で仕事をしているうちに、改めてモノづくりの勉強がしたくなり、岐阜県高山市にある、プロの家具職人や木工職人を目指す若者のための木工塾「森林たくみ塾」に入塾しました。「森林たくみ塾」での2年間を含め、高山市で4年間生活した後、妻の故郷である新潟市に移り住み、秋葉区にある家具販売店に就職しました。

新潟には何度か来ていましたが、気持ち良い人が多いという印象を持っていました。新潟に戻り、それまでパティシエとして働いていた経験のある妻が、移動販売のお店「スズキ食堂車」をスタートさせることになりました。その当時、新潟市内で移動販売という形態はあまり事例がなく、保健所への対応な

ど、いざ始めるとなると様々な課題があり、そのなかでも移動販売の場所の確保は最も難しいものでした。しかし、その都度、新潟の皆さんに助けられ、ここまでやってきたという思いです。

良いモノを届けたい

良いモノを多くの方に知って欲しいと思い、昨年、「スズキ家の茶ノ間」をオープンさせました。家具や普段使いの食器など、手に馴染む本当に良いと思うモノを紹介し、商品を通じてお客様に喜び、満足してもらえるモノを届けたいと考えています。オープンさせるにあたって、店内に妻が始めていた「スズキ食堂車」



の対面販売のコーナーも設けました。

新潟が仕事をしやすい環境になるかは、本人のやる気次第、気持ち次第だと思いません。東京で流行っているモノをこちらに持ってきて、長期間上手いくとは限らないと思うからです。お店はスタートしたばかりですが、流行に左右されない、本当に良いものを地方から発信できたらと考えています。



鈴木 日富さん (34歳)

スズキ家の茶ノ間 オーナー

URL: <http://www.suzukikenochanoma.com/>



山形県出身。高校卒業後、デザインの専門学校に進学したが、次第にモノづくりへの思いを強くする。就職した後、改めて家具製作を学ぶため岐阜県高山市にある「森林たくみ塾」に入塾。高山市で4年間を過ごし、5年前、新潟市へ1ターン。昨年、念願だったお店をオープンさせた。

教えて先輩!
vol.46

やりたいことに向かって

北方文化博物館を 知りませんでした

大学卒業後は新潟に戻り、いくつかの仕事を経験したのですが、やはり、正社員として働きたいと思うようになりました。そこで、求人を探しているなか、新潟市にある「若者しごと館」へ行き、「北方文化博物館」の求人票を見つけて応募しました。応募する前にホームページで調べたのですが、それまで「北方文化博物館」を知りませんでした。家からも比較的近い場所にあるのですが、このような「豪農の館」があることを知らないで育ってしまったという感じです。

実際に仕事を始めてからは、分からないことだらけでした。広大な敷地の中に様々な建物や庭園があり、多いときには、一日に3,000名もの来館者が来られるときもあります。私の主な仕事は、旅行会社との会計業務です。また、団体ツアーのお客様が重なった時などは館内のどの部署も大忙しなので、受付やお土

産の販売、飲食店での接客なども行います。北海道や沖縄など日本中から多くのお客様が来られるほか、海外からもいらっしゃいますので、戸惑うことばかりです。

相談しながら仕事を探す

皆さん驚かれるのですが、「北方文化博物館」は年末年始も含めて年中無休で開館しています。週末や祝日などは来客数も多いので、主に平日に休みをとることになりますが、同じように平日にしか休めない仕事をしている友人と食事に出かけるなど、休日はほとんど家にいません。何かやっていないと落ち着かないのかも知れません。最近、館内で行われるイベントを

担当させてもらえるので、その準備などで忙しいのですが、毎日充実した日々を過ごしています。

新潟で働きたいと考えている方にアドバイスするならば、一人で悩まないで欲しいということです。私が「若者しごと館」の担当の方からアドバイスしてもらったように、「やりたい仕事」「自分に向いている仕事」を相談しながら探すのも良い方法だと思います。「やりたい仕事」だけど、経験がないからと諦めないでチャレンジすることで、良い結果がでると思います。



小林 紗弓さん (29歳)

一般財団法人 北方文化博物館勤務

URL: <http://hoppou-bunka.com/>



新潟市出身。18歳まで新潟市内で過ごす。その後、福島県内の大学に進学。卒業後、新潟に戻り、江南区にある北方文化博物館に就職。現在は団体旅行会社の対応などの他、館内外のイベント等にも積極的に関わっている。

私たちが新潟で暮らす理由

ふるさとへの愛着、人とのつながり、地元に関わる仕事など、UターンやIターンをして新潟で暮らしている人々にはそれぞれの理由があります。一人一人理由は違うかもしれませんが、皆さんに共通しているのは「新潟への思い」ではないでしょうか。そこで今回は、実際に新潟へのUターン・Iターンを経験した方々にお話を伺い、その時の気持ちや現在の様子、新潟暮らしの魅力について語っていただきました。



大好きな新潟を知ってもらいたい

株式会社ジョイフルタウン 出版部
馬場 智子 さん

新潟市出身。東京都内の大学を卒業後、Uターンをして、(株)ジョイフルタウンに入社。現在は、タウン情報誌「月刊にいがた」などの企画・取材・編集を担当。
「ジョイフルタウン」ホームページ <http://www.joyfultown.jp/>

新潟市
中央区

地元に戻りたい思いと希望の仕事がリンク

大学生時代、「人」と「人」、「人」と「こと」をつなぐ仕事がしたいと思い、出版・広告業界への就職を希望する一方で、卒業後は新潟に戻りたいとも思っていました。しかし、就職活動を始めた当初は、就職活動と学業の両立が大変だったことや、地元の求人情報を知る機会の少なさから新潟での就職は難しいと感じていました。

そのようなとき、先輩からの助言で新潟市のハローワークで情報を探し始め、そこでタイミング良く現在の会社の求人を見つけました。無事に採用されることとなりましたが、採用試験では、「このチャンスを何としても逃したくない」という気持ちが強く働き、他の企業の時にはないほど緊張したのを覚

えています。「新潟に戻ってきたい」という思いと自分が希望していた仕事とリンクした形となり、縁を強く感じています。

新潟のことを知りたい知ってもらいたい

幼い頃から新潟が大好きな私ですが、タウン誌の編集という仕事を通して「まだまだ自分の知らない新潟の魅力がある」と感じています。そして、それは他の新潟県民にも言えることなのではないかとも思っています。「新潟に暮らしている人にこそ、新潟のことをもっと知ってもらいたい」。だからこそ、取材などでいろいろなところに出かけた際には、まず自分が新潟についての知識を深められるように心がけていますし、そうして得た情報を多くの読者に伝えられることに、やりがいや幸せを感じています。

また、新潟に戻ってきて、改めて気づかされたことは「新潟は住みやすい」ということです。特に強く感じるのは、人の温かさや人と人とのつながり、そして、食べ物がおいしいこと。どれも、生活をしていくなかでとても大切なことです。このように、仕事や日々の暮らしのなかで感じた新潟の良さを多くの人に知ってもらい、「新潟っていいよね」と思ってもらえるよう、また、新潟での暮らしをより豊かにしてもらえるようにこれからも頑張っていくと思っています。



新潟の盛り上がりを仕掛ける

ライター・NPO法人職員
唐澤 頼充 さん

長野県伊那市出身。大学卒業後、新潟県内の市場調査会社勤務を経て独立。平成25年12月にウェブサイト「にいがたレポ」を立ち上げる。現在はNPO法人に勤務する傍ら、フリーライターとしても活動している。
「にいがたレポ」ホームページ <http://niigata-repo.com/>

燕市

盛り上がりを作り出したい

仕事を辞め、フリーランスのライターとして活動することになり、自分の情報発信媒体を持ちたいと思いました。そこで立ち上げたのがウェブサイト「にいがたレポ」です。地域の情報発信のツールについて分析したとき、インターネット上での新潟に関するコンテンツが少ないことに不満を持ちました。きっと自分と同じように不便に思っている人はいるだろうと、ウェブサイトの立ち上げに踏み切りました。インターネットは新潟県外にも簡単に情報発信でき、より多くの人に新潟のことを届けられるの思いもあります。

「にいがたレポ」に記事を書いているのは、自ら希望してきた市民ライターの方々です。これまでに、およそ30人の方から投稿してもらっています。大切なのは、新潟のことを知っ

ている市民の人たちが、身近な話題を自ら発信することだと考えています。さらに、大勢の人が記事を投稿することによって情報量が増え、情報量を多くすればするほど、インターネット上でのコミュニケーションを生みだし、目に見える形での盛り上がりを作り出すことができるのではないかと考えています。

新潟の魅力的なコンテンツを発信していきたい

新潟で活動してきて、強く感じることは「縁」です。独立したとき、新潟を離れて東京で仕事をすることもありましたが、それまで培ってきたつながりを生かすことを考え、新潟に残りました。このつながりがあったからこそ、現在の活動ができています。「縁」はこれからも大切にしていかなければと思っています。

今後は「にいがたレポ」を注目してもらえるものになりたいと考えています。そのなかで、自分で発信した情報が、大手メディアに取り上げられれば、新潟の情報を全国に広めることにつながります。そのような意味では、情報と大手メディアの間に位置する「ミドルメディア」ともいえるべきジャンルが確立できればと考えています。情報発信については、エンターテインメント性があり、「読み物」としておもしろいコンテンツが求められていると思います。「にいがたレポ」では、新潟の魅力的なコンテンツを発信し続けていきたいと思っています。



《メッセージ》新潟へのU・Iターンを考えている人へ



(株)広報しえん 支援部
野瀬 知巳 さん

求められている県外経験者

県外での生活経験がある人に対する県内企業の求人状況は、とても良い状況にあります。県外からのU・Iターン者に対しては、その経験(スキル・キャリア)を求める傾向が強くなってきており、企業側は、入社したらどのような好影響をもたらしてくれるのか、非常に期待しています。新潟に就職することで、通勤時間の短さを筆頭に、ゆとりのある、充実した生活を送ることができます。国内や世界を相手にする仕事もあります。日本海側最大の都市圏新潟で、ぜひ豊かな生活を送ってもらえればと思います。



人と人をつなぐ場づくりを目指して

ニイガタ移住計画 代表
鈴木 博之 さん

新潟市出身。大学を卒業後、オリックス株式会社に入社。12年間の勤務を経て、独立を決意。「ニイガタ移住計画」を立ち上げる予定で、Uターン・Iターン希望者と新潟をつなぐ仕事に取り組む。
「ニイガタ移住計画」ホームページ <http://www.niigata-coworking.com/>

新潟市
中央区

新潟と人をつなぐ仕事を

会社に就職して10年が経過したころ、仕事のなかで個人の存在価値が示せているかを考えたとき、ふと、自分の仕事に疑問を持ちました。そう思ったとき、「自分でなければならぬ、価値を提供できる仕事がしたい」という気持ちが芽生え、独立することを決意しました。

仕事の場所として選んだのは故郷の新潟です。東京で暮らしていて感じたことは、新潟へのUターンやIターンを考えている人が多いということです。しかし、その人たちから聞こえてくるのは、仕事を含めた生活のイメージがしにくいことや、人とのつながりを作れるのかという不安でした。そこで、この疑問や不安を解消すれば新潟に移住する人が増えるのではないかと、ここにビジネス

チャンスがあるのではないかと、「ニイガタ移住計画」を立ち上げる準備をしています。

新潟市をUターン・Iターンしたい都市No.1に

事業のコンセプトは「人と人をつなぐ場をつくること」です。その1つとして、コワーキング*スペースの開設を考えています。その場には様々な人が集い、情報や仕事がある。そこで人と人がゆるやかに、心地よい距離感でつながることで新たな面白い仕事が生み出される。そして、その仕事に他地域の人も関わり、新潟の魅力に気がつく。他にはあまり見られない「新潟モデル」ともいえるべき独自の地方中核市モデルを作ることが理想です。夢は「新潟市がUターン・Iターンしたい都市No.1になること」です。UターンやIターンをする人が増え、移住者と元々新潟に住

む人が交わり、地元を誇りをもって楽しんでいる姿を想像すると胸が高まります。新潟市は湊町の歴史があり明治時代には全国から人とモノが集まる都市でした。新潟は表面的ではない、心が通った人と人とのつながりが作り出せる可能性がある場所です。夢の実現に向けて、一歩ずつですが、着実に進んでいきます。

※コワーキング…事務所スペース、打ち合わせスペース等を共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル



家族と暮らす楽しさがある

NPO法人 魚沼交流ネットワーク 事務員
伊藤 萌 さん

魚沼市出身。大阪府の専門学校を卒業後、東京都内での就職を経て、Uターン。地元に戻った後は、「NPO法人 魚沼交流ネットワーク」の事務員として活動している。
「NPO法人 魚沼交流ネットワーク」ホームページ <http://www.uonumakara.com/npo/>

魚沼市

家族と一緒に生活が楽しい

地元に戻ってきてから家族と一緒に暮らしていますが、そのなかで、お互いに協力しながら生活することの良さを改めて実感しています。このことだけでも、地元に戻ってきてよかったと思わせてくれます。一人暮らしのときは気楽さもありましたが、「誰かが協力してくれれば」と思うことも多かったです。「協力する」「協力してもらう」ということが互いに気兼ねなくできるのは家族ならではの良さです。

現在は、父が単身赴任、弟が進学のため家を離れていて、母と妹の3人で暮らしていますが、家族5人の仲は良いです。今でも、毎年のように家族で旅行に出かけています。昔から仲が良く、一緒にいることは楽しいと思っていましたが、今思えば、その楽し

さが当たり前となり、家族と暮らす良さを忘れていたところがありました。Uターンをして再び一緒に暮らすことになり、以前と変わらず楽しく生活できることがうれしく、家族と一緒にいることの居心地の良さを感じています。

町づくりという仕事

「魚沼交流ネットワーク」のスタッフとして5年目となります。事務員が1人というこ



とで、会計から文書作成、案内の発送など事務仕事全般のすべてを担当しなければなりません。当初は大変でしたが、現在では仕事内容も理解し、活動にも余裕が出てきました。また、最近は他団体と交流する機会もあり、学ぶことも多いです。

これからは地域に貢献できる活動をしていきたいと思っています。地域の立て直しや活性化にかかわることができればと考えています。NPO活動について、なかなか理解が得られていないところもありますが、積極的に活動していくことで周囲の見方を変え、「町づくりの仕事をしている」と言えるようになればと思っています。道のりは険しいですが、家族と一緒に生活しているからこそ活動に専念できるので、頑張っていきたいと思っています。



ありのままの新潟を見せたい

五泉ゲストハウス 五ろり
オーナー
齊藤 明 さん

五泉市出身。高校卒業後、東京都の専門学校に進学。その後、テレビ番組で使う大道具の製作などをする仕事に就く。6年前、五泉に戻ってから会社勤務などを経て、平成26年6月に「五ろり」をオープンさせた。
「五泉ゲストハウス 五ろり」ホームページ <http://gorori.jimdo.com/>

五泉市

五泉でゲストハウスを

ゲストハウスとは、初めて会う人同士が相部屋で宿泊したり、リビングなどの共有スペースで他の宿泊者と交流できる施設です。ゲストハウスを初めて知ったのは、10年くらい前に沖縄を旅行したときでした。数日間の滞在で、オーナーや宿泊者たちとの間にコミュニケーションが生まれ、単なる宿泊施設とは違う魅力を感じました。やがて自分でもゲストハウスを始めたい、それも地元の五泉で、と思うようになり、昨年6月に「五ろり」をオープンさせました。

知り合いから空き家になっていた現在の建物を紹介してもらったのですが、周囲に

特別なものはありません。ただ、五泉という、一見何もなさそうな場所でも「何かできる」ということを示したいとの思いがありました。しかし、何もないと思っているのはそこに暮らしている人たちだけです。地元の人には見慣れた田園風景も、初めて見た人はとても感動していました。そう考えると、提供できるものはまだまだあると思っています。

「また来たい」と言ってもらえるように

目指すのは、旅と暮らしの中間にあるような施設です。ただ宿泊してもらいだけでなく、食事作りなどの作業を一緒にしてもらいます。できれば数日間滞在し、生活の疑似体

験をすることで、五泉の良いところも悪いところも知ってもらうのが理想です。

新潟で暮らすことを考えたとき、「新潟も悪くない」と思うくらいがいいのではないのでしょうか。あまり期待しすぎると、実際の生活との間でギャップが生まれるかもしれません。「良いところ」ばかり見るのではなく、「本当のところ」を見るべきです。いずれは、「五ろり」での宿泊をきっかけに五泉や新潟で暮らそうという人が出てきてくれると思っています。



Uターンパンフレット

『にいがたUターンでかなえる10のこと。』

本県の暮らしやすさをPRするパンフレット『にいがたUターンでかなえる10のこと。』を作成しました。

新潟県と東京都における生涯収入・支出の比較や住宅の面積、通勤時間、子育て環境など、新潟での生活の良さを発信しています。



にいがた暮らしの「幸福度」を比較!

- 新潟県と東京都における生涯収入・支出モデルの比較
- 各種統計データでの全国順位を踏まえた本県の暮らしやすさを紹介



Uターン者を徹底取材!

- 新潟での生活についてのUターン者の声を紹介

Uターン情報誌

「新潟生活」と「新潟Uターン情報」をセットで無料送付しています。

新潟生活

- 新潟にUターンした先輩の体験談
- 新潟の豊かな暮らしや魅力的な仕事の紹介など

新潟Uターン情報

- 新潟県内企業の紹介
- 就職活動の動向
- 就職ガイダンスのお知らせなど



送付をご希望の方は、ニイゲットでお申込み、又は新潟県県民生活課までお問い合わせください

ニイゲット リニューアルのお知らせ

新潟Uターン総合サイト



- 「就職 企業情報」や「合同企業説明会スケジュール」など、仕事に関する情報を充実!
 - トップページを整理、スッキリ見やすく!
- 詳しくは<http://www.niiget.jp>または、「ニイゲット」で検索!



働く・暮らすに関する情報が充実

9つのカテゴリーに分類されたサイト集で、新潟で働くこと、暮らすことに関する情報を掲載。

取材記事を好きな時にじっくり読むことができます。

ニイガタビト

週替わりでUターンされた方や生き生き働いている方の声を発信。

就職 企業情報

新潟県内の就職・求人に関する情報や企業についての情報を随時更新しています。

合同企業説明会スケジュール

県内外で開催される新潟への就職に関する合同企業説明会の日程が掲載されています。

リンク集

新潟の仕事や暮らし、Uターンに関する情報満載のサイトがそろっています。

最新の新潟情報も手に入ります。

オススメ情報

グルメ、イベント、ボランティア活動などっておきの口コミ情報です。

お申し込み・お問い合わせ

新潟県県民生活課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL025-280-5112(直通)

